

State of the art

JSCCR/ESMO/NCCNガイドラインを比較する

[NCCNガイドラインの概説]

医長

谷口浩也

Hiroya TANIGUCHI

愛知県がんセンター中央病院薬物療法部

Summary

NCCNガイドラインは、全米21施設で構成されるNational Comprehensive Cancer Networkが策定する米国の代表的な診断・治療ガイドラインである。作成過程やパネルメンバーの利益相反、ガイドラインの内容などが無料で一般公開されており、透明性の高いガイドラインである。記載内容は、論文化されたエビデンスだけでなく、学会発表され

ただけのデータ、パネルメンバーのコンセンサスに基づくものもある。年に数回以上改訂され、新しいエビデンスが創出された場合は速やかにガイドラインに反映される。NCCNガイドラインの記載内容を反映した医薬品集NCCN compendium[®]は、米国での薬剤の保険償還に直結しており、新規治療が速やかに保険償還され得る仕組みとなっている。

Key words

> NCCN > Category > 化学療法 > 化学放射線療法 > NCCN compendium[®]

NCCNガイドラインとは

NCCN (National Comprehensive Cancer Network) は全米各地の21のがんセンターで構成されたガイドライン策定組織である。NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology (NCCN Guidelines[®], 以下、NCCNガイドライン) は、NCCNが策定する“A statement of evidence and consensus of the authors regarding their views of currently accepted approaches to treatment”であり、臨床医が治療方針を決定する際の参考となるよう作成されている。腫瘍内科医、外科医、放射線治療医、病理医だけでなくPatient advocateを含む約30人のパネルメンバーが公平な1票を有しており、利益相反開示が義務づけられている。年に数回最新のエビデンスに基づいて改訂が行われ、ホームページに公開(無料ダウンロードが可能)され

る。大腸がん治療のガイドラインは、“Colon Cancer”と“Rectal Cancer”で別冊子になっているが、両者は術前治療など一部の記載を除きほぼ同じ内容である。

各記載項目にはエビデンスの強さやパネルメンバーのコンセンサスの一致率に基づき推奨度(カテゴリー分類)が、定められている(図1)。ハイレベルエビデンス(Category 1)は全体の10%未満であり、90%以上がCategory 2Aに分類されている。Category 2Bは、妥当であるが自分を行わないというパネルメンバーがいるということであり、2Aと比較しエビデンスレベルが低いという訳ではない。また、各治療レジメンに治療効果(Efficacy)、安全性(Safety)、エビデンスの質(Quality of Evidence)、エビデンスの一貫性(Consistency of Evidence)、費用(Affordability)の各項目に対する5段階評価を追記した、『NCCN Evidence BlocksTM』と名付けられた別冊がある。

以下、NCCNガイドラインに記載されるアルゴリズム

SAMPLE